

平成30年度

事業報告書

平成30年4月1日から

平成31年3月31日まで

公益財団法人 山田育英会

平成30年度 事業報告

【公1】公益目的事業

大学及び大学院に修学する国内外の学生であって、志操堅実、学力優秀、かつ、身体強健でありながら経済的理由により、学業の継続が困難な者に対し、育英奨学の事業を行い、もって社会に有用の人材を育成するため、以下のとおり「奨学金の支給事業」及び「教育研修及び人材交流に関する事業」を行った。

1. 奨学金の支給事業

(1) 奨学生数と給与金額

①奨学金の内容

- ・奨学金の種類：給与奨学金（返還義務なし）
- ・支給期間：奨学生の在学する正規の最短修業期間
- ・支給金額：大学学部学生 1ヵ月2万円
大学大学院修士課程学生 1ヵ月2万5000円

②奨学生数と支給した奨学金

大学学部学生 191名（継続143名、新規48名）

大学大学院修士課程学生 29名（継続12名、新規17名）

計 220名

奨学金支給額 51,990,000円

※大学学部学生継続奨学生のうち3名は提出義務のある書類を提出期限までに提出いただけなかったため奨学金を停止し、大学学部学生継続奨学生のうち1名および大学大学院修士課程学生継続奨学生のうち1名は休学により奨学金を停止したため、奨学金支給対象奨学生は215名となる。

※大学学部学生継続奨学生のうち1名及び大学大学院修士課程学生新規奨学生のうち1名は本年度後期より休学したため、半年分の支給となった。

※大学学部学生継続奨学生のうち1名は他の奨学金受給のため、本年度後期より奨学金を停止したため、半年分の支給となった。

※大学学部学生継続奨学生のうち1名は10月より4年生として復学し、半年分の支給が残っていたため、半年分の支給となった。

※大学学部学生継続奨学生のうち1名は前年度後期に1学年降学されたため、本年度は3ヶ月分の支給となった。

※大学学部学生継続奨学生のうち4名は提出義務のある書類を提出期限までに提出いただけなかったため提出いただくまで支給を停止したため、2名は9ヶ月分の支給、2名は3ヶ月分の支給となった。

※大学学部学生新規奨学生のうち1名は10月採用のため半年分の支給となった。

(2) 新規奨学生の選考

①奨学生の募集方法

大学及び大学院1年生を対象とし、「大学推薦による方法」と「公募による方法」により、新規奨学生65名を新規奨学生として採用した。

・大学推薦（33名の応募があり33名を採用した）

推薦依頼校9校に各4名の奨学生候補者の推薦を依頼した。

なお、名古屋大学の1名については、10月採用となった。

・公募（127名の応募があり32名を採用した）

募集要項を当会ホームページ、全国で販売されている雑誌（螢雪時代 臨時増刊号）に掲載し、学生からの直接応募を受け付けた。

②奨学生の選考方法

「奨学金給与規程」に基づき、6月12日に、奨学生選考委員会による選考を行った。選考は、推薦書・学業成績・課題論文等を選考基準に照らし総合的に審査をし、選定した。なお、名古屋大学の1名については、9月に採用した。

2. 当会の奨学生を対象とする教育研修及び人材交流に関する事業

奨学金を受ける学生に対し、研修及び交流の機会を提供することを目的として、次の行事を開催した。なお、研修旅行については、以下の理由により開催しなかった。

①研修会・懇親会の開催

※8月28日に大阪の会場で、奨学生に対し交流の機会を提供し、また、奨学生の学業・生活状況を確認するとともに、研修会・懇親会を開催した。

なお、91名の奨学生が参加した。

②就職活動に関する研究会兼懇親会

※12月8日に東京の会場で、奨学生に対し就職活動に関する情報交流の機会を提供し、懇親会を開催した。

なお、42名の奨学生が参加した。

③研修旅行

※数年毎を目処に出捐企業であるダイキン工業株式会社が所有している研修所等において、奨学生間の交流の機会を提供するとともに、毎回異なるテーマを設定し、当該テーマについての研修を予定していたが、平成30年度は参加者が極めて少数と認められたため、研修旅行は行わなかった。

④卒業式

※3月16日に大阪の会場で、卒業予定の奨学生に対し、奨学生間の交流を図ることを目的として、卒業式・懇親会を開催した。

なお、17名の奨学生が参加した

⑤事業支出

8, 940, 702円

3. 特別奨学生支援資金に基づく特別奨学生支援活動

自然災害や主たる生計維持者の不慮の事故・病気などにより生計が急変した学生の緊急支援

(1) 奨学生数と給与金額

①奨学金の内容

- ・奨学金の種類：給与奨学金（返還義務なし）
- ・支給期間：奨学生の在学する正規の最短修業期間
- ・支給金額：大学学部学生 1ヵ月2万円

②奨学生数と支給した奨学金

大学学部学生 10名（新規10名）

奨学金支給額 1, 200, 000円（当年度については半年分）

(2) 新規奨学生の選考

①奨学生の募集方法

大阪北部地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震により被災された世帯の学生（学年は問わず）を対象に、新規奨学生10名を新規奨学生として採用した。

- ・大学推薦（10名の応募があり10名を採用した）

北海道大学、京都大学、大阪大学、岡山大学、広島大学の5校に各2名の新規奨学生の募集を行い、応募のあった岡山大学より9名、広島大学より1名を採用した。

②奨学生の選考方法

大学推薦による